

# ホームページ作成と セキュリティ

## 相馬野馬追

野追は、相馬・双葉郡の旧相馬藩領(2市6町1村)あげて開催される国の重要無形民俗文化財です。戦国時代のその昔から1千余年の  
り、日本を代表する伝統文化行事です。

今年度は7月23日(月)～25日(月)の3日間開催されます。

[<戻る>](#)



### 7月23日(土) 1日目

- 出陣式 (相馬市)
- 総大将お迎え (鹿島町)
- お練り出し (相馬市・原町市・小高町)

### 7月24日(日) 2日目

- お行列 (原町市)
- 甲冑競馬 (原町市)
- 神期争奪戦 (原町市)



### 7月25日(月) 3日目

- 野馬懸 (小高町)

# 情報の変遷

伝播の速さ

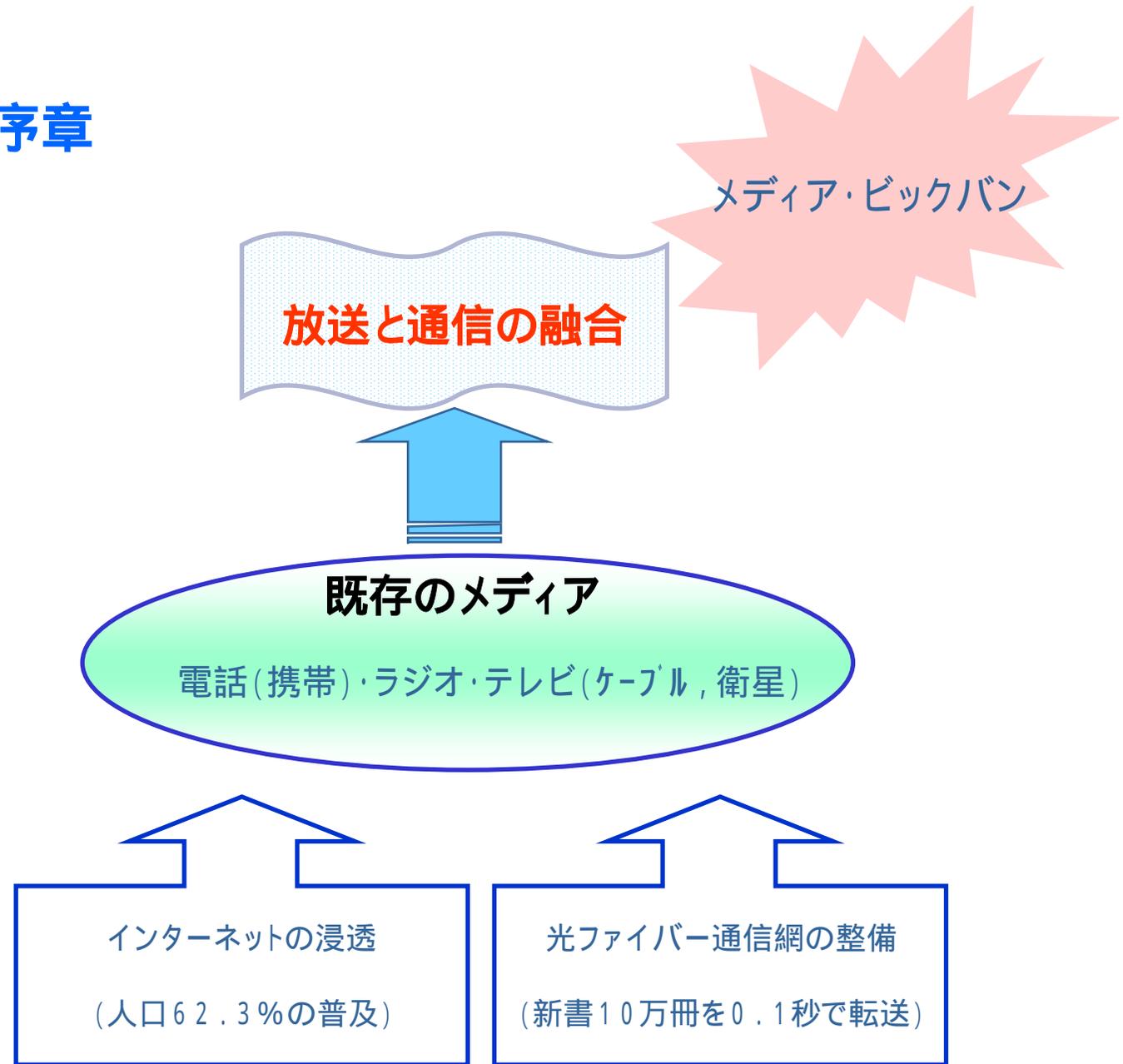
光速へ

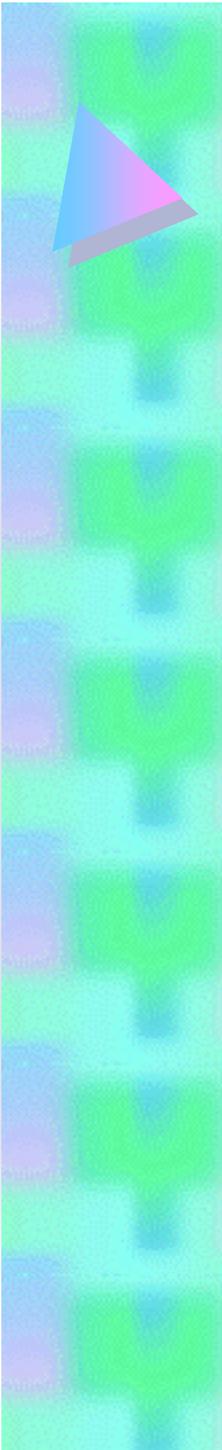
影響力の範囲

世界へ

肉声	紙(印刷)	電線	電波		
会話					
集会					
	新聞				
		電信			
				ラジオ	
		電話			
					テレビ
			携帯電話		
	インターネット				

## IT革命の序章





朝日新聞7月30日(土)1面

地上デジタル

# 光回線網で放送容認

難視聴対策で 総務省審議会 通信と融合加速か

光ファイバー網での通信を利用して放送番組を流すことが、条件つきながら初めて認められることになった。情報通信審議会（総務相の諮問機

関）が29日、テレビの地上デジタル放送の普及のために光通信などを活用するよう求める答申をまとめた。2011年7月のアナログ放送停止まで

に、確実にデジタル放送を全国に広げることが目的だ。ただ、これを機に「放送と通信の融合」が進む可能性がある。

答申によると、ビルの陰など電波が届きにくい地域を中心に、IP（インターネット・プロトコル）技術を使った光回線で番組を送信する。06年

から認め、全国に広がる。この位置に、全国的に、線での制、地域、ない、件に、の確、ま

に、確実にデジタル放送を全国に広げることが目的だ。ただ、これを機に「放送と通信の融合」が進む可能性がある。



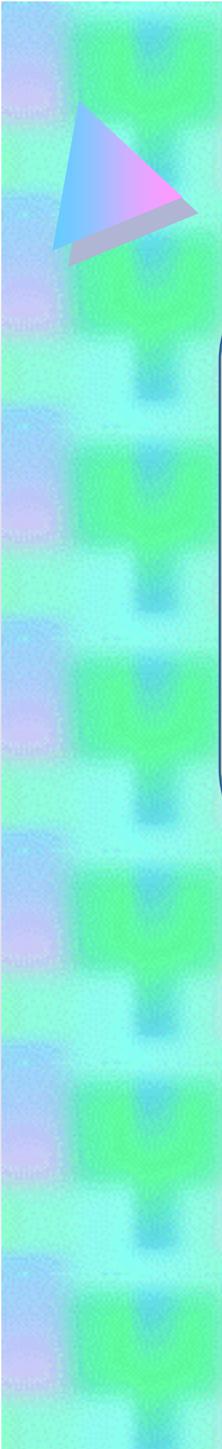
## メディア・ビックバンによるIT革命

- ・誰でも情報がもてる
- ・情報生産の解放
- ・誰でも情報の生産者に
- ・地縁血縁から解放
- ・デジタルにより複製と転送を可能に

## 情報の共有化

(IT革命の正体)





## IT革命の光陰

- ・公開性による民主的社会的醸成
- ・アカウンタビリティによる結果の保障
- ・個人の選択自由性の拡大
- ・互酬を中心とした社会の出現  
(オンライン・サークル)

光

陰

- ・デジタル・デバイド(情報格差)の拡大
- ・地域共同体の弱体化
- ・稀薄な人間関係と個人の孤立化

# 憲法第13条の幸福追求権

個人の尊重・幸福追求権・公共の福祉

すべての国民は個人として尊重される。  
生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利は  
…最大の尊重を必要とする。

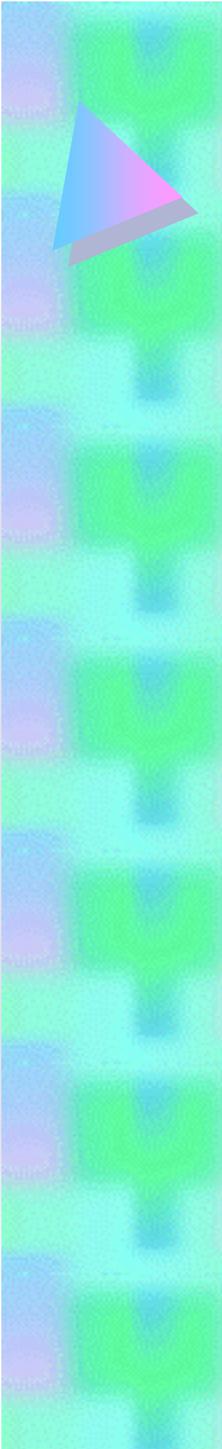
行政に対して

行政機関保有する情報の公開  
に関する法律(H14施行)

行政機関の保有する個人情報  
の保護に関する法律(H17施行)

権利の明確と保護

行使の保障



## 行政機関保有する情報の公開に関する法律(H14施行)

### 目的(抜粋)

…情報の一層の**公開**を図り、  
…国民の的確な理解と批判の下にある公正で民主的な…

### 明確にした点

何人も行政文書に対して**開示請求権**があることを明確にした

不開示事項を明確にした。

#### 個人に関する情報

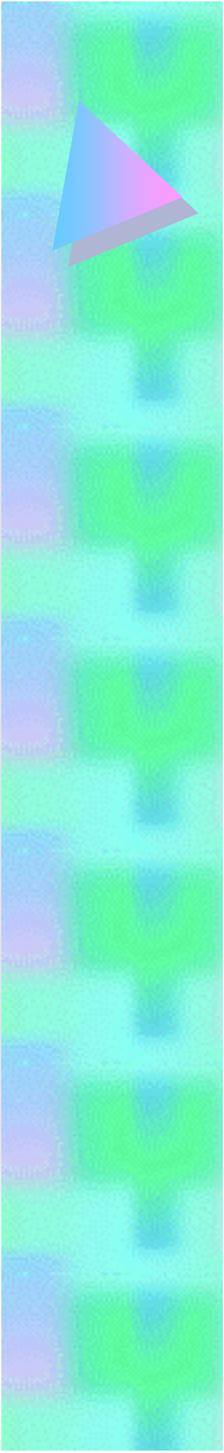
法人その他の団体に関する情報

国の安全が害される恐れがある情報

公共の安全と秩序維持に支障を及ぼす情報

意志決定の中立性が失われる情報

適正な執行に支障をきたす情報



## 行政機関保有する個人情報の保護に関する法律(H17施行)

### 目的(抜粋)

…行政の適性かつ円滑な運営を図りつつ、  
個人の権利利益を保護する

### 明確にした点

個人情報の保有を利用目的範囲内に限定した

事前に利用目的を当該本人へ明示を義務化した

行政機関の長に適切管理を義務づけた

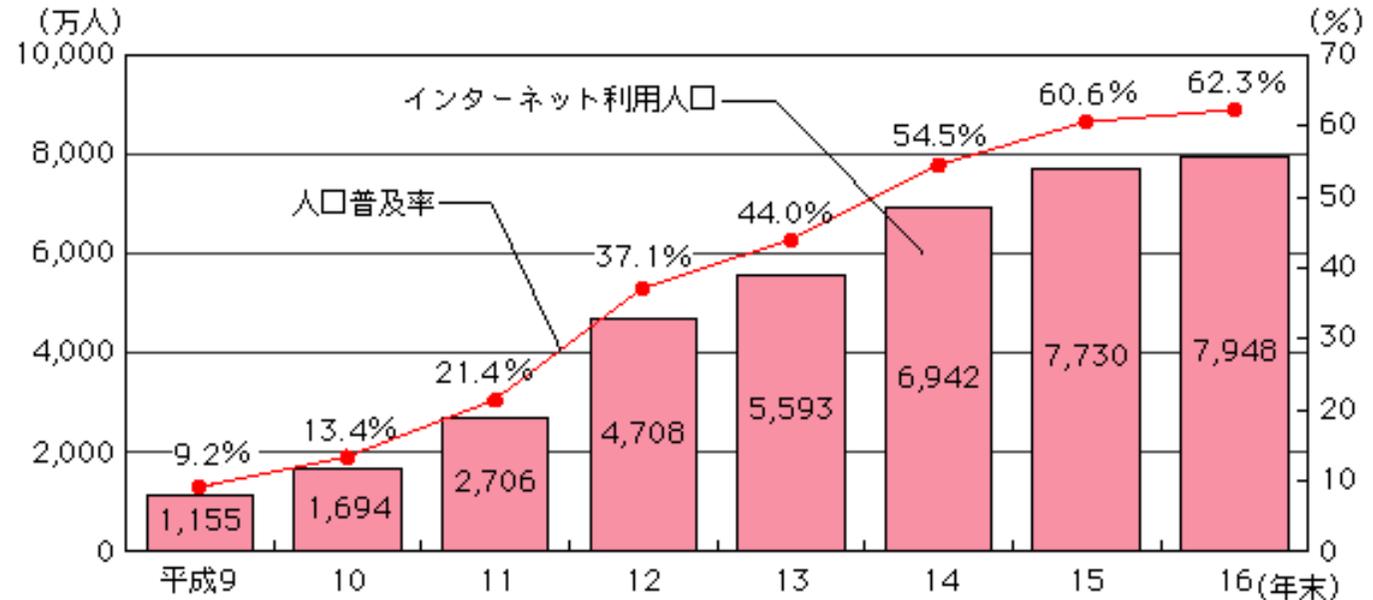
自己の情報に対して管理する権利を認めた

開示請求権

訂正請求権

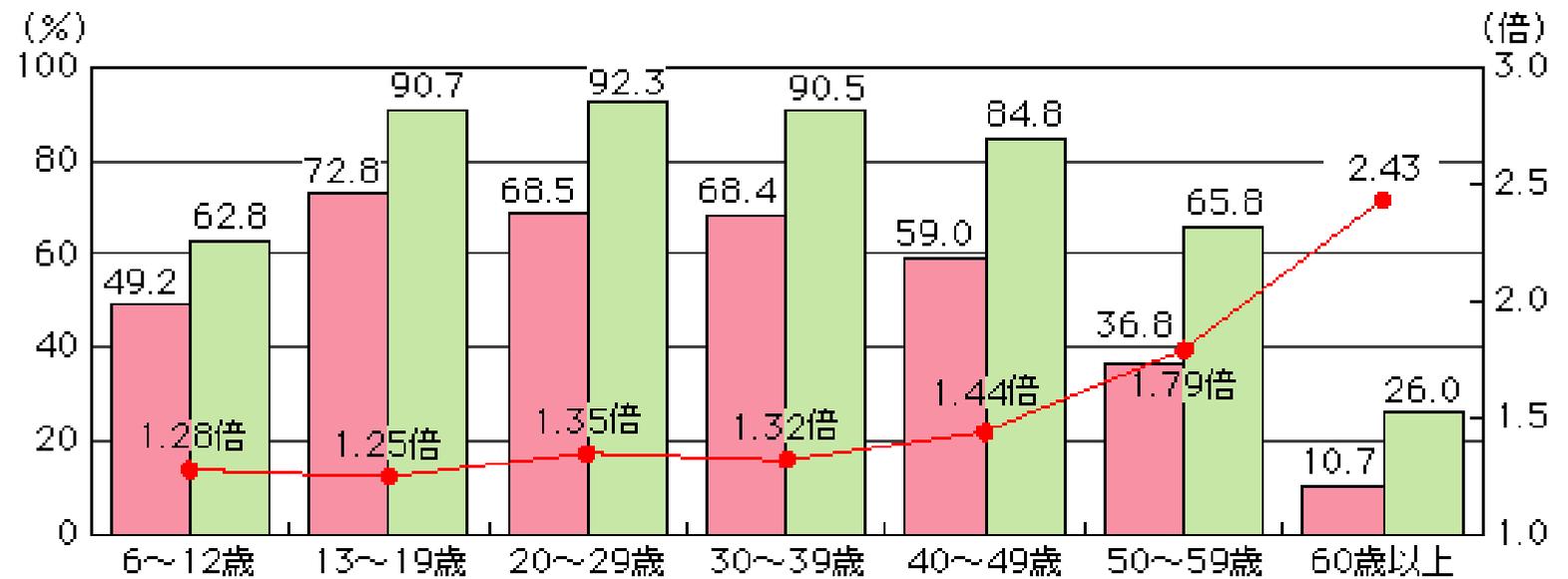
利用停止  
請求権

## インターネットの利用人口及び普及率(1)



- ※1 上記のインターネット利用人口は、パソコン、携帯電話・PHS・携帯情報端末、ゲーム機・TV機器等のうち、1つ以上の機器から利用している6歳以上の者が対象
- ※2 平成16年末の我が国の人口普及率(62.3%)は、本調査で推計したインターネット利用人口7,948万人を、平成16年10月の全人口推計値1億2,764万人(国立社会保障・人口問題研究所「我が国の将来人口推計(中位推計)」)で除したもの(全人口に対するインターネット利用人口の比率)
- ※3 平成9～12年末までの数値は「情報通信白書(平成12年までは通信白書)」より抜粋。平成13～16年末の数値は、通信利用動向調査の推計値
- ※4 推計においては、高齢者及び小中学生の利用増を踏まえ、対象年齢を年々拡げており、平成12年末以前の推計結果については厳密に比較出来ない(平成11年末までは15～69歳、平成12年末は15～79歳、平成13年末から6歳以上)

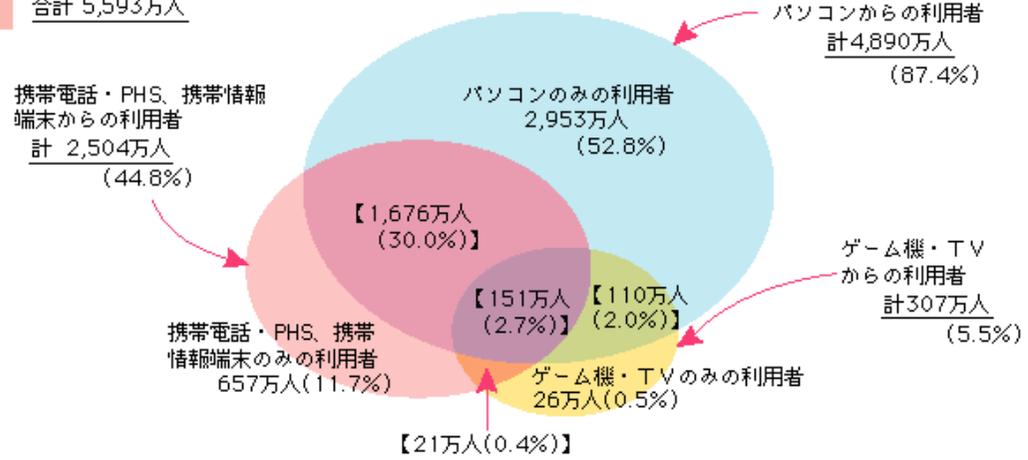
## インターネットの利用人口及び普及率(2)



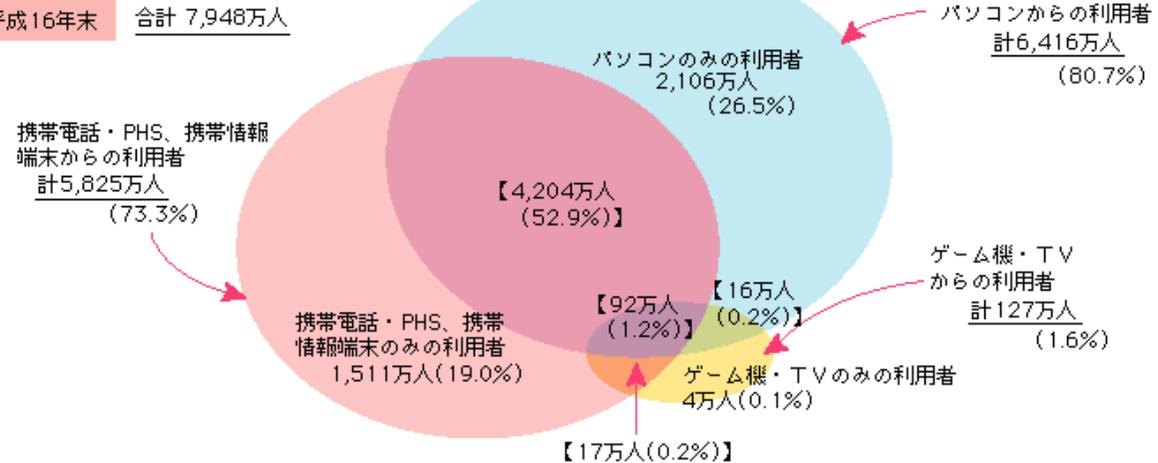
図表①、② (出典) 総務省「

## 端末別に見た個人のインターネット利用者

平成13年末 合計 5,593万人



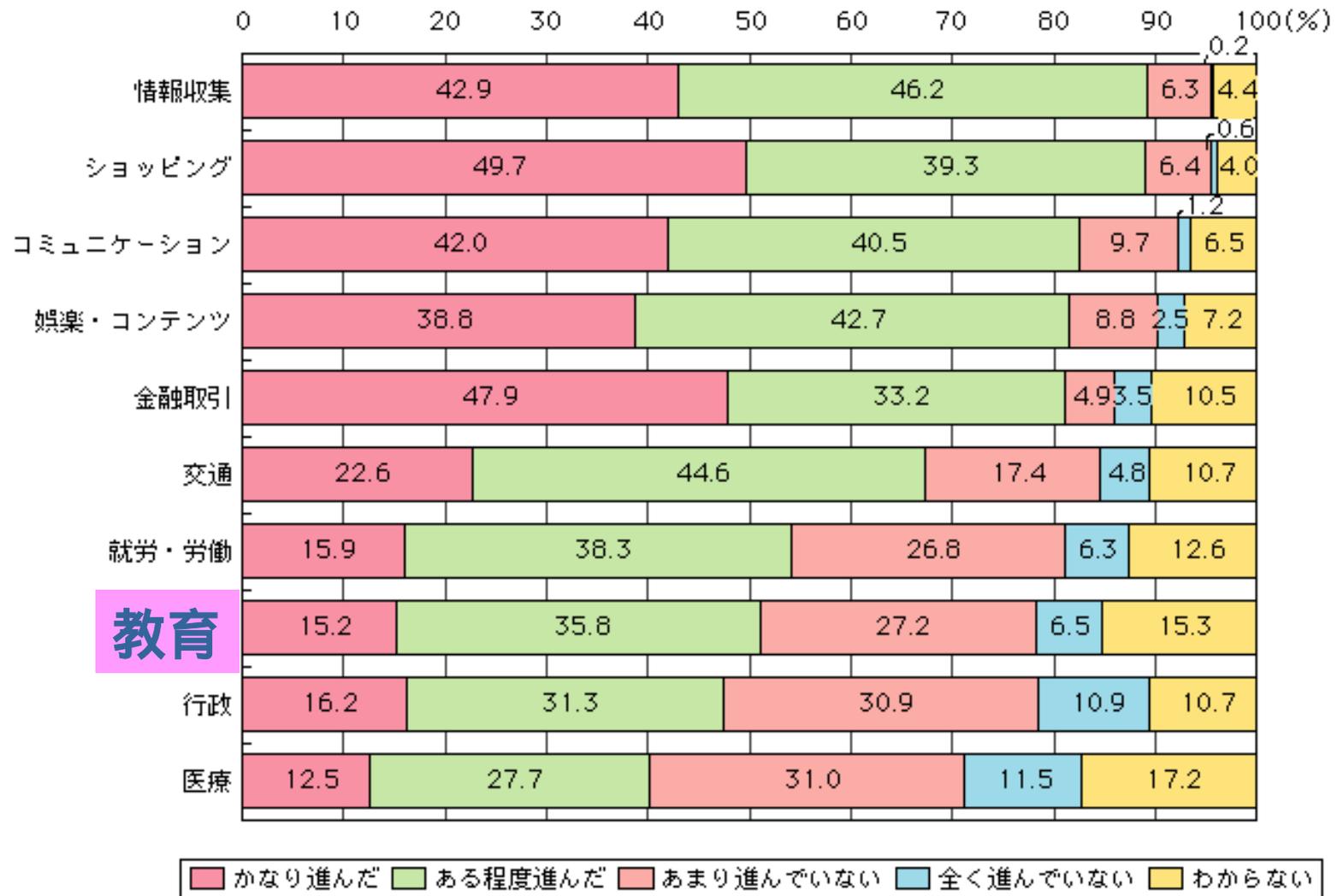
平成16年末 合計 7,948万人



※ 【 】内は、3つの円の重なり部分の人数。( )内は、6歳以上のインターネット利用者に占める割合  
 なお、端数処理のために、一部合計値が一致しない箇所がある

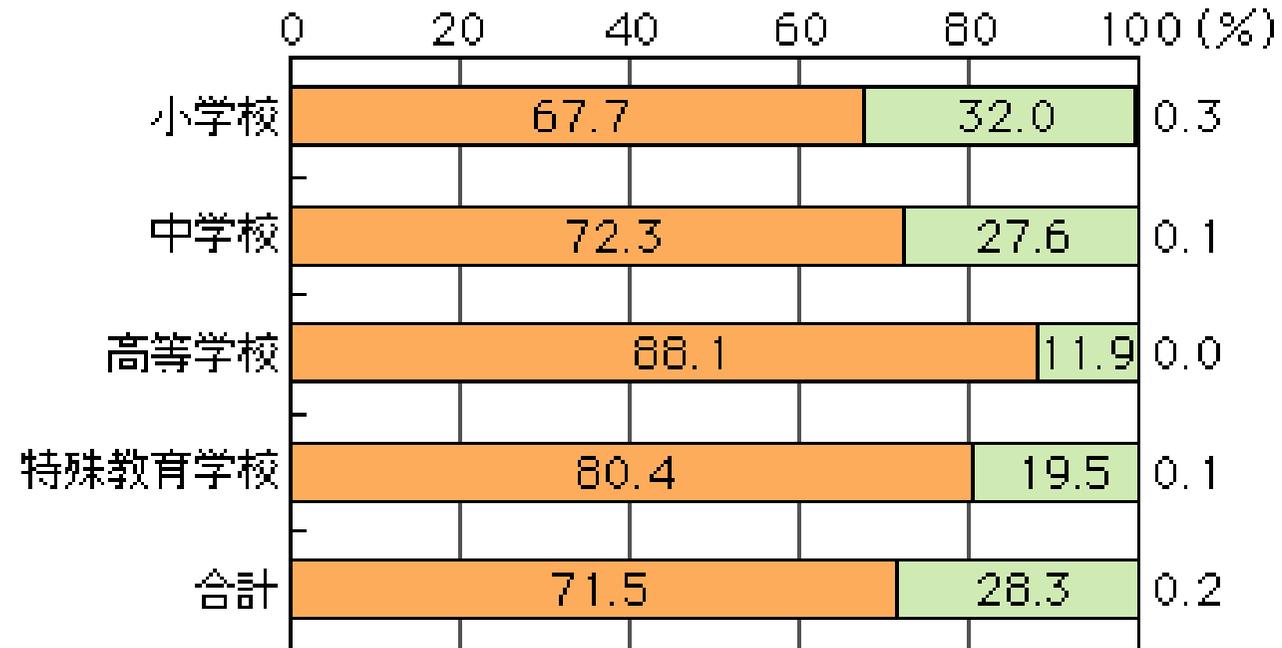
(出典) 総務省「通信利用動向調査」

## ここ3年間で利用が進んだ分野



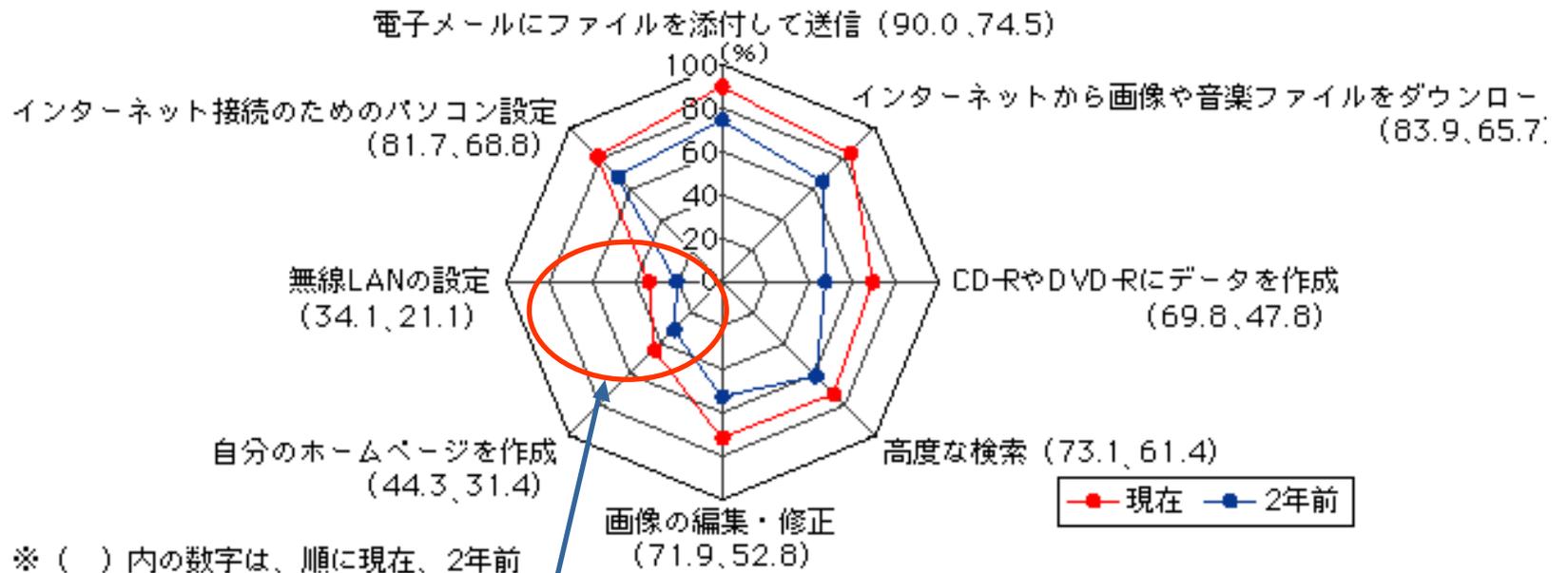
(出典)「ネットワークと国民生活に関する調査」(ウェブ調査)

## 学校におけるインターネット接続環境(H15年度末)



■ 高速インターネット接続率 ■ インターネット接続率(高速以外)  
■ インターネット未接続率

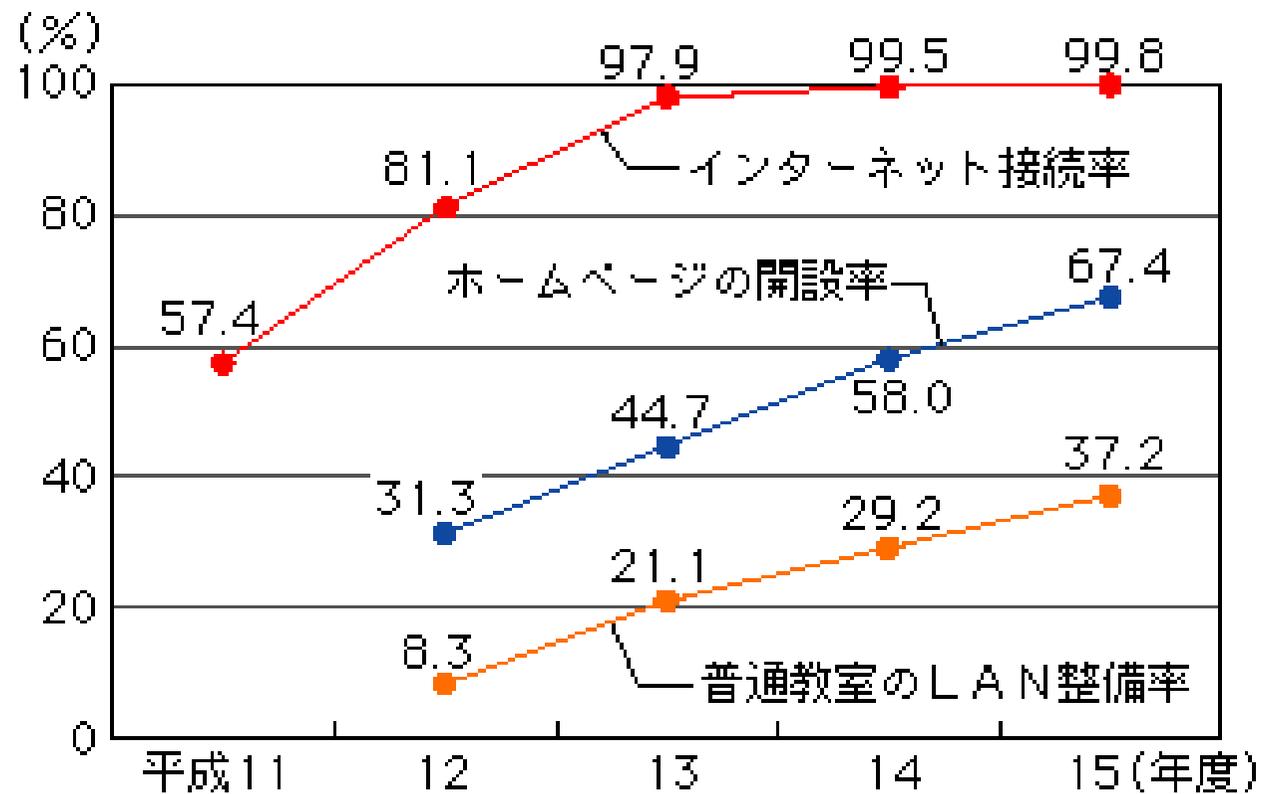
## インターネットの利用のレベル



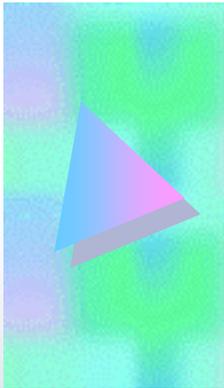
(出典)「ネットワークと国民生活に関する調査」(ウェブ調査)

この分野の利用が少ない

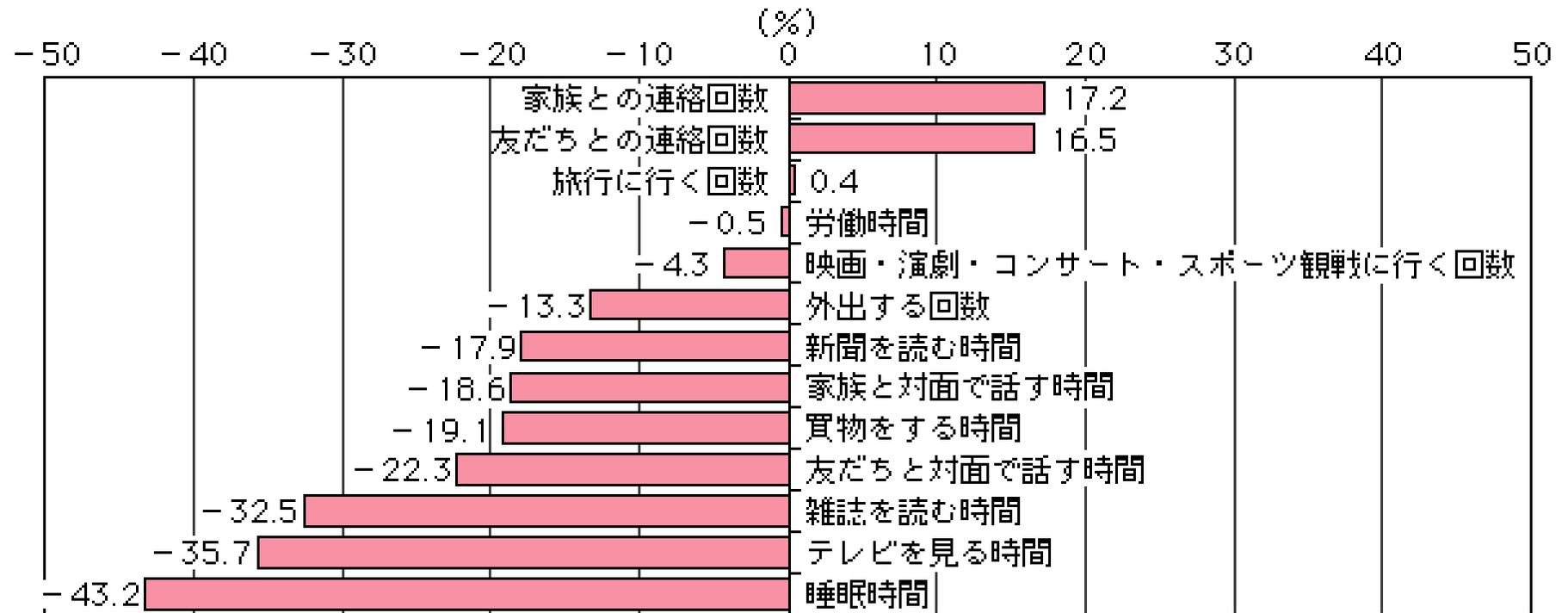
## 学校におけるインターネット普及率と利用



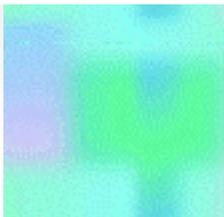
※ 平成11年度の普通教室のLAN整備率及びホームページ開設率は未公表

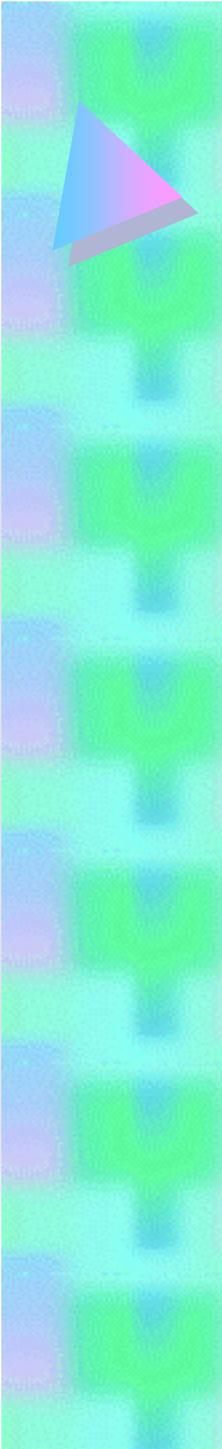


## インターネットの普及と生活の変化



各項目に対して「増加した」と回答した利用者の割合から「減少した」と回答した利用者の割合を差し引いたもの





## レクチャー内容

ホームページを分解してみよう  
HTMLを使ってHPを作ってみよう  
他の方法でHPを作ってみよう  
公開してみよう  
必要な物の整理  
企画から公開までの流れ  
サイト概念の整理  
デザイン上の留意点  
セキュリティについて

実技を入れて説明します。残りは資料を読んで補完してください。

# 県事務研HPの設定

### ファイル転送設定

サーバープロフィール設定 転送モード自動判別設定 詳細設定

サーバープロフィール名(P)  
CsideNet

ログイン情報の設定  
プロバイダの選択(E)  
その他

FTP サーバー名(S)  
se43.cside.jp

FTP アカウント名(U)  
e43070-1

FTP パスワード(W)  
\*\*\*\*\*

サーバーの初期フォルダの設定(D)  
指定されたフォルダ  
public\_html

OK

### サイト定義 kenjiken

基本 詳細設定

## サイト定義

ファイルの編集 ファイルのテスト ファイルの共有

リモートサーバーにはどのように接続していますか?  
FTP

Web サーバーのホスト名または FTP アドレスを指定してください。  
se43.cside.jp

ファイルはサーバー上のどのフォルダに保存しますか? (F)  
public\_html/

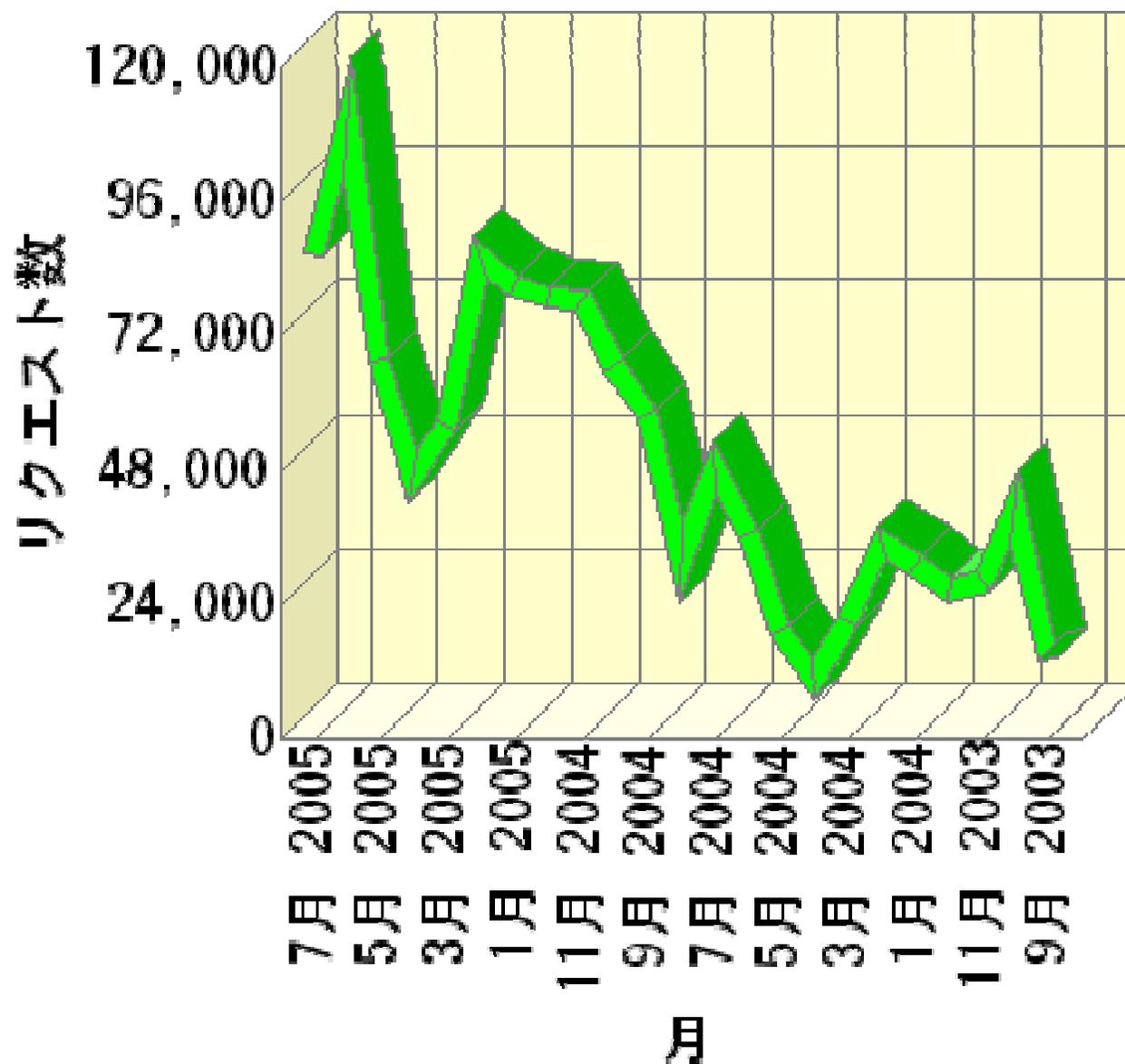
FTP ログイン名を入力してください (L):  
e43070-1

FTP パスワードを入力してください (P):  
\*\*\*\*\*  保存(V)

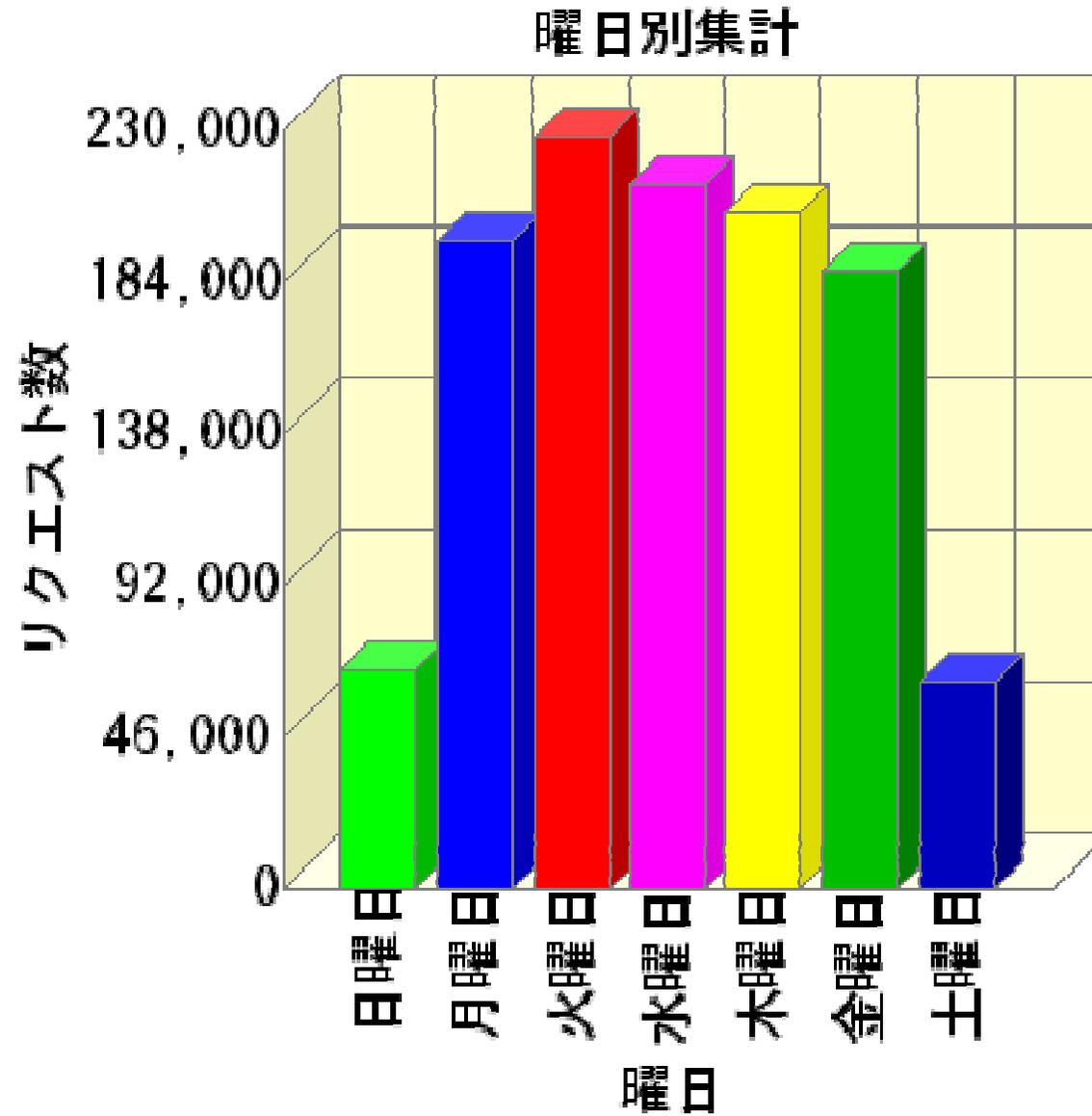
接続テスト(T)

県事務研のホームページのアクセス状況 (15.9.1-17.7.31)  
約2年間のリクエストページの変化

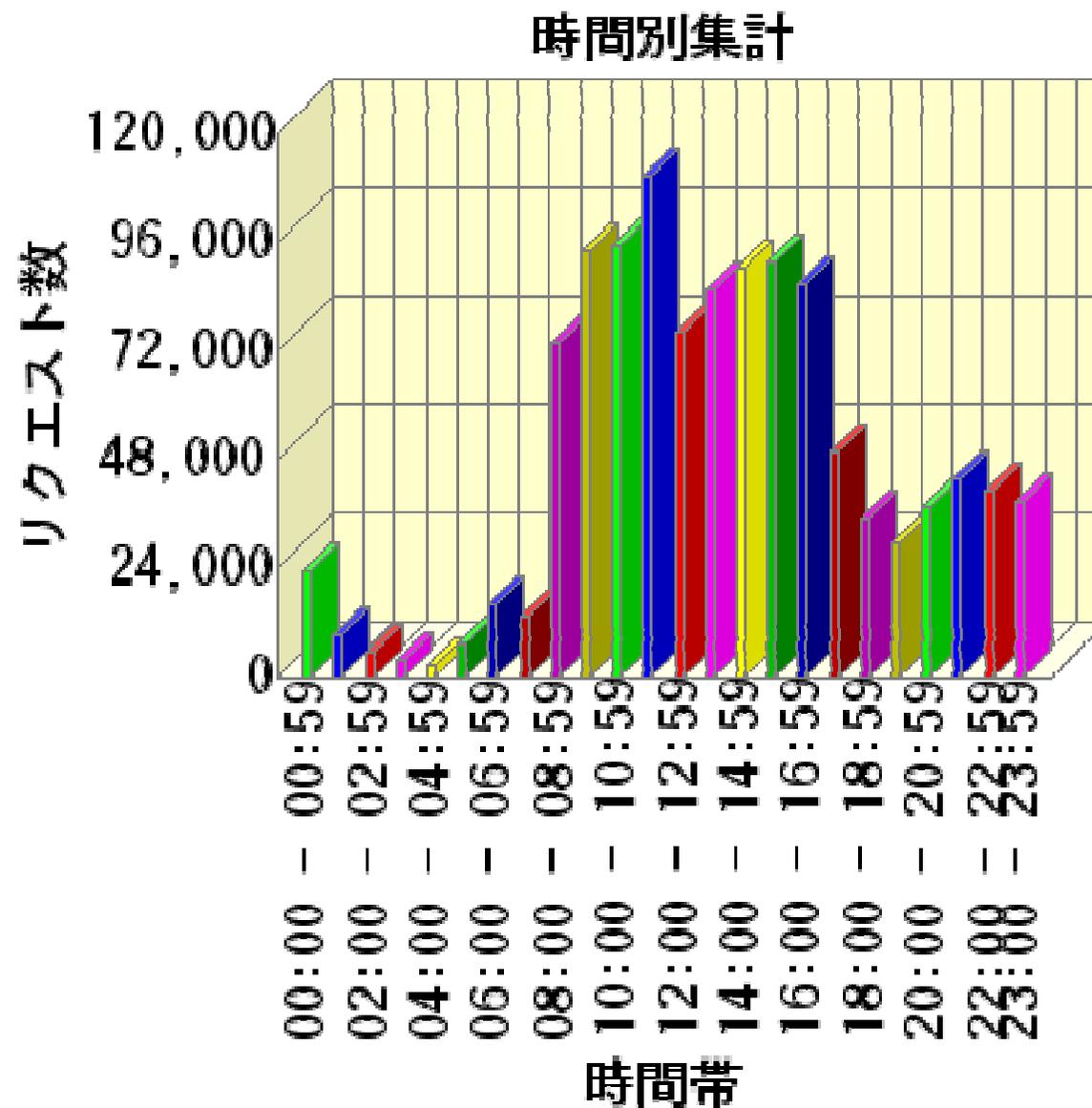
月別レポート



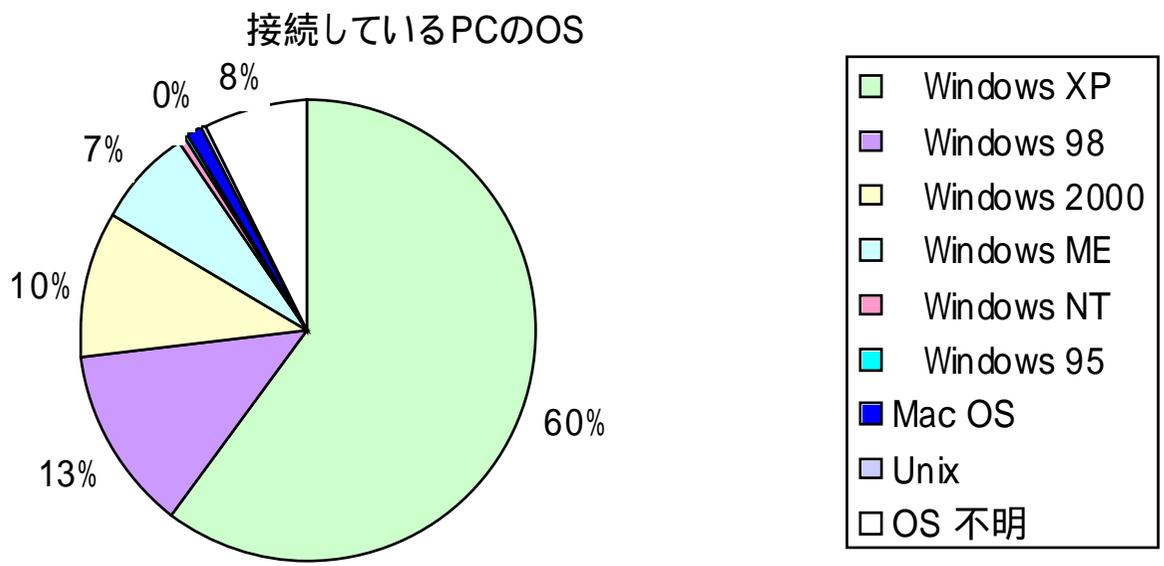
県事務研のホームページのアクセス状況 (15.9.1-17.7.31)  
一週間内のリクエストページ状況



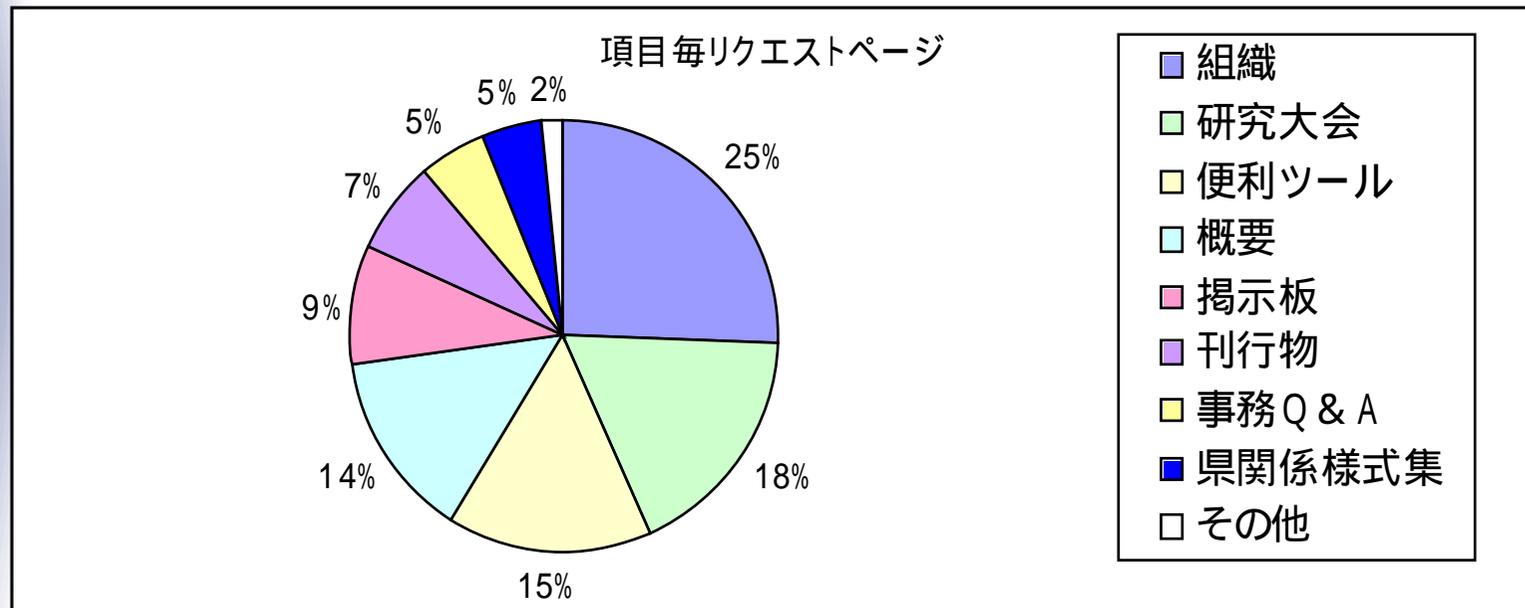
県事務研のホームページのアクセス状況 (15.9.1-17.7.31)  
一日内のリクエストページ状況



# 県事務研のホームページのアクセス状況 (15.9.1-17.7.31) リクエストしているパソコンのOS



## 県事務研のホームページのアクセス状況 (15.9.1-17.7.31) 各項目におけるリクエスト数



# アンケート調査による結果 (16年12月実施)

## 情報環境

パソコン環境	コメント	個人所有が多くなっている。また、職場での使用も増加していることから、概ね物的環境は整備されてきており、パソコンが仕事に欠かせないものになってきていることが覗える。	
	個人所有	374	<p>パソコン環境</p> <p>69%</p> <p>31%</p> <p>0%</p> <p>■ 個人所有 ■ 職場使用可 □ 環境にない</p>
	職場使用可	167	
	環境にない	2	

## アンケート調査による結果(16年12月実施) 情報環境

インターネット接続	コメント	ほとんどの会員が個人及び職場ともにインターネット接続が可能となっている。一方、接続環境にない会員(23人)は、現在パソコン室が全学校に設置されていることから、物的条件ではなく「事務職員が使用し易い状況になっていない」または「使用方法が良く分からない」といった使用方法上の問題を抱えていると考えられる。	
	個人接続可	291	<p>インターネット接続環境</p> <p>54% 42% 4%</p> <p>■ 個人接続可 ■ 職場接続可 □ 環境にない</p>
	職場接続可	228	
	環境にない	23	

# アンケート調査による結果(16年12月実施)

## 情報環境

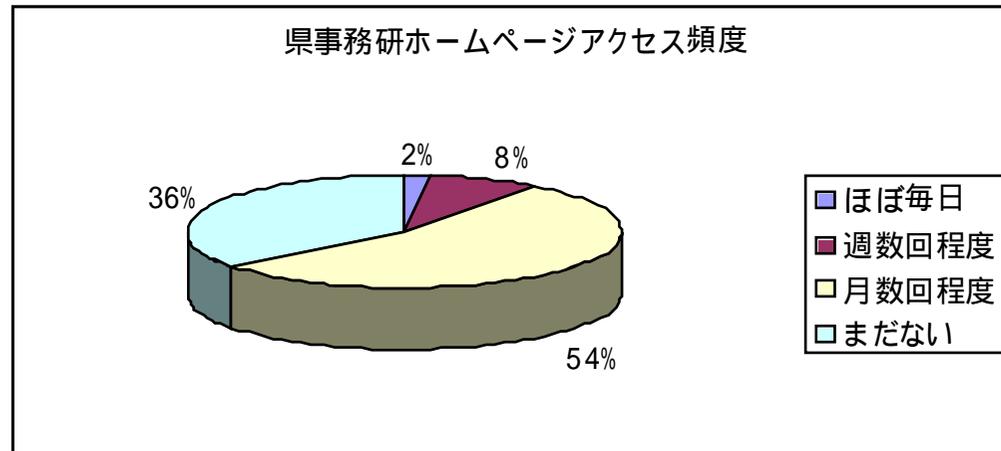
### コメント

「ほぼ毎日」は極めて少ない。「週数回」「月数回」の何回?の程度は不問としたが、「月数回」が一番多かった(290)。一方、接続(利用)したことがない会員が意外に多く(190)、原因はほぼ共通している。(特に、福島、郡山、いわきが多い)

職場で事務用として使用できない。接続や利用の方法が分からない。接続はできるが職場自宅とも時間が確保できない。未接続者は、これらが解決または期待できれば利用したいと考えているようだ。しかし、ごく少数であるが利用しなくとも困らない。メリットがない。事務研ホームページ

### アクセス頻度

ほぼ毎日	11
週数回程度	44
月数回程度	290
まだない	190



# アンケート調査による結果(16年12月実施)

## 情報環境

コメント  
 (これ以下はアクセスしたことの  
 ある345名の回答  
 です)

「様式集」と「研究大会」にアクセスが多く、以下、地区情報、リンク集、掲示板等となっている。一方、記念誌、事務研要覧、過去の研究集録は、ほとんど数字が出ていない。これらのことから、多くの会員が望んでいることは、ホームページでこそ入手できる「研究資料」や「実務に役立つ様式や自作ソフト」のダウンロード及び情報交換などであることが覗える。  
 今回、事務Q&Aが未掲載のためこの設問に掲載しなかったが、多くの会員から事務Q&Aの開設を望む声があった。今後、様式集や自作ソフトとともに事務Q&Aの利用が増えることが予想

主に見る

年間活動計画	58
総会関係資料	20
各支部事務研	99
意見箱	25
サイトマップ	21
研究大会関係	147
過去の研究集録	9
リンク集	81
様式集	206
各委員会活動	81
掲示板	76
事務研要覧	9
会報	32
記念誌	0
研修研究計画	16
その他	11

